

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		商工会補助事業	担当課	経済課
総合計画	政策	活力にあふれるまち	計画期間	年度～
	施策	商工業の活性化	種別	任意的事務
	基本事業	地域商業の充実	市民協働	
予算科目コード		01-070102-03 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか） 経営改善普及事業及び地域総合振興事業の推進を実施する商工会を補助金により支援する。
市内商工業者の経営改善普及事業の推進，地域総合振興事業，各種共済事業の普及推進のため支援を行う。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市内商工業者の育成と振興を図ることを目的として補助金を交付し，中小企業の発展と地域経済の活性化を図る。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の店舗が増えて利便性が高まり，市内で買物する市民が増加する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
商工業者の経営基盤の強化，充実に寄与した事業展開が図られており，地域の商工業の経営等の改善発展を図る地域総合経済団体への補助であり課題はない。	
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	商工業の発展を図る商工会に対する補助金事業であり，現状維持とする。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
市内商工業者の育成と商業の振興を図ることを目的として補助金を交付した。	市内商工業者の育成と商業の振興を図ることを目的として補助金を交付した。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
会員数（人）	779.00	869.00	860.00	865.00	865.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	会員及び商工業者の地域の経営基盤の強化・充実に寄与した事業展開を図っているが、入会があるものの退会もあるため、会員数が微減した。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☒ 維持 ☐ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	商工会は、地域商工業の経営等の改善発展を図る地域総合経済団体であり、その活動に対する補助は公益性の高いものであるため継続していく。				

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
正職員人工数（時間数）		80.00	17.00	7.00	0.00	0.00
正職員人件費		328	71	29	0	0
トータルコスト		7,828	7,571	7,529	7,500	7,500

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		アワーズもりや管理事業		担当課
総合計画	政策	活力にあふれるまち		計画期間
	施策	商工業の活性化		種別
	基本事業	地域商業の充実		市民協働
予算科目コード		01-080401-07 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
守谷駅東口商業街区に魅力ある街並み形成のため、平成21年7月にアワーズもりやを開業させ、「守谷駅前賑わい創出事業」として平成28年度まで行ってきたが、更なる適切な施設管理を行うため、平成29年度より「アワーズもりや管理事業」に移行した。	
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
空区画への新たなテナントの募集や入居済みテナントへのフォロー 建物の修繕管理を行い、アワーズもりやの適切な管理を行う。	
（参考）基本事業の目指す姿	
市内の店舗が増えて利便性が高まり、市内で買物や食事をする市民の増加を目指す。	守谷駅東口商業街区にある建物について、所有者の三菱UFJリースと賃貸借契約（平成21年7月から20年間）を結び、商業施設管理者（大和情報サービス 17テナント）、医療施設賃貸者（JAMLモールマネジメント6テナント）及び駐車場賃貸者（三井不動産リアルティ：自動車219台、自転車92台（内原付3台））に転貸等を行い、商業施設、医療施設及び立体駐車場・駐輪場の適切な管理を行う。

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
・空き区画が満床となり、その持続が必要である。	1～2カ月に1度：各テナントへ問題点等の調査を実施 通年：リーシング
改善内容(課題解決に向けた解決策)	
・テナントとの意見交換を行い、事前に障害となるものの解決を実施する。 ・引続きリーシングを実施する。	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☒ 維持 ☐ 削減	維持管理を行うためコスト維持は必要となる。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度 of 取組（評価、課題への対応）
収支の改善を図るため、駐車場賃料の引上げを行うことができた。また、建物管理費の引下げを行うことができた。さらに、駐輪場（自転車86台バイク4台）を新設し、不正駐輪防止と収支の改善につながった。	大和情報サービスと修繕箇所の確認・協議を進め、大規模修繕への対応を行った。また、3-5区画においては茨城福祉工場との契約、3-3区画においては、ママダと契約する等、テナント確保のためのリーシングを進めた結果、入居テナント数を満床とすることができた。

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
商業施設入居テナント数（件）	12.00	16.00	17.00	17.00	17.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）					
■向上 □横ばい □低下	入居テナント数を満床としたことにより、収支が改善した。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□拡大 □縮小 ■維持	□改善・効率化 □統合 □廃止・終了	空き区画に対し引き続きリーシングを進める。新型コロナウイルスの影響に伴う令和2年3月以降の売上減少に対し、関係機関との細かな連絡調整を行うとともに、収支の改善に努める。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	125,397	124,295	124,560	124,140	124,140
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	119,595	124,295	124,560	124,140	124,140
	一般財源	5,802	0	0	0	0
正職員人工数（時間数）		502.00	193.00	174.00	0.00	0.00
正職員人件費		2,058	806	714	0	0
トータルコスト		127,455	125,101	125,274	124,140	124,140